

目次

第1章 アンケート調査概要

| | |
|----------------|---|
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 調査の設計と内容 | 1 |
| 3. 調査項目一覧 | 2 |
| 4. 報告書の見方 | 3 |
| 5. 他調査との比較について | 4 |
| 6. 調査回答者の属性 | |
| (1) 性別 | 5 |
| (2) 年齢 | 5 |
| (3) 婚姻の有無 | 6 |
| (4) 家族構成 | 6 |
| (5) 共働きの状況 | 7 |
| (6) 就業状況 | 8 |
| (7) 居住地 | 9 |

第2章 アンケート調査結果の概要 11

第3章 アンケート調査結果の分析

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 男女平等意識について | |
| (1) 男女の平等感 | 17 |
| (2) 男女平等になるために重要なこと | 27 |
| (3) 男女の役割分担意識についての考え方 | 31 |
| 2. 家庭生活及び結婚・家庭観について | |
| (4) 家庭生活での夫婦の役割分担状況 | 33 |
| (5) 理想とする家庭生活での夫婦の役割分担 | 44 |
| (6) 結婚・家庭観 | 57 |
| (7) 女性と男性の望ましい生き方 | 64 |
| (8) 仕事と家庭のバランスの現状 | 72 |
| (9) 仕事と家庭の両立のために必要なこと | 77 |
| 3. 地域社会における慣習等 | |
| (10) 地域社会での実態 | 81 |
| 4. 就業に関する意識と実態 | |
| (11) 就業状況 | 83 |
| (12) 仕事に就いている理由 | 85 |
| (13) 仕事に就く意志・仕事に就いていない理由 | 87 |
| (14) 共働きの実態 | 90 |
| (15) 就業についての意識 | 93 |

| | |
|----------------------------------|-----|
| 5. 政策決定への参画 | |
| (16) 政策の企画・方針決定に関する意識 | 101 |
| (17) 女性の社会進出のために必要な措置 | 103 |
| (18) 女性のチャレンジ支援のために必要な取り組み | 105 |
| 6. 人権への配慮 | |
| (19) 女性の人権についての意識 | 106 |
| (20) 配偶者等からの暴力に対する意識 | 117 |
| (21) 配偶者等からの暴力を受けた経験 | 128 |
| (22) 配偶者等からの暴力を受けた時の相談先 | 130 |
| (23) 配偶者等から暴力を受けた時に相談しなかった理由 | 132 |
| (24) 配偶者等に対して暴力を行った経験 | 134 |
| (25) 配偶者等に対して暴力を行った時の相談の有無 | 136 |
| (26) 配偶者等に対して暴力を行った時の相談先 | 137 |
| (27) 配偶者等に対して暴力を行った時に相談しなかった理由 | 137 |
| (28) メディアにおける性・暴力表現についての意識 | 138 |
| (29) 女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために必要なこと | 140 |
| 7. 男女共同参画センター | |
| (30) 宮崎県男女共同参画センターの認知度 | 141 |
| (31) 男女共同参画センターの利用の有無等 | 143 |
| (32) 男女共同参画センターに期待すること | 146 |
| 8. 男女共同参画施策 | |
| (33) 男女共同参画に関する言葉の認知度 | 148 |
| (34) 男女共同参画に関する言葉を見聞きした場所 | 162 |
| (35) 県が推進すべき男女共同参画施策について | 163 |
| 自由記入 | 165 |
| (資料) アンケート調査票と集計結果 | 173 |